

# AlphaTec®

EN 943

化学防護服  
使用指示書  
アルファテック® EVO



**Ansell**



<b>1.安全上の考慮事項</b> .....	<b>5</b>
1.1 本書で使用されている信号アイコンの定義.....	5
1.2 防護服のラベルに記載されたマークの定義.....	6
<b>2.本製品の説明</b> .....	<b>7</b>
<b>3.承認</b> .....	<b>8</b>
3.1 ヨーロッパEC型式認証.....	8
3.2 NFPA.....	8
<b>4.適切な使用</b> .....	<b>9</b>
4.1 使用目的.....	9
4.2 使用制限.....	9
4.2.1 爆発の恐れのある環境.....	9
4.3 使用可能温度.....	9
<b>5.使用前</b> .....	<b>10</b>
5.1 着用- 密閉型 (タイプCV/VP1) 防護服.....	10
5.2 着用 - 非密閉型 (タイプT) 防護服.....	11
5.2.1 フードの調整.....	11
5.2.2 フェイスピースの装着.....	12
5.2.3 防護服の着用.....	12
<b>6.使用中</b> .....	<b>14</b>
6.1 マノメーター/圧力計のチェック手順.....	14
6.2 防護服の換気の調節.....	14
<b>7.使用后</b> .....	<b>15</b>
7.1 初回の除染.....	15
7.2 防護服の脱衣.....	15
7.3 最終除染.....	15
<b>8.保管</b> .....	<b>16</b>
8.1 保管条件.....	16
8.2 保管方法.....	16
8.3 保管寿命.....	16
8.4 防護服の折りたたみ.....	17
<b>9.保守</b> .....	<b>18</b>

9.1 保守スケジュール.....	18
9.2 防護服の目視検査.....	19
9.3 ISO 17491-1に沿った気密性のテスト .....	19
9.3.1 密閉型防護服タイプCV/VP1のテスト .....	19
9.3.2 非密閉型防護服タイプTのテスト.....	20
9.3.3 マスク付き非気密型タイプT防護服のテスト .....	21
9.4 洗浄 .....	21
9.4.1 手洗い.....	21
9.4.2 洗濯機洗い.....	21
9.5 ファスナー .....	22
9.5.1 機能.....	22
9.5.2 お手入れ.....	22
9.6 バイオネットリング.....	23
9.6.1 機能.....	23
9.6.2 お手入れ.....	24
9.7 グローブの交換 .....	25
9.8 ゴム製袖口の交換.....	28
9.9 弁のゴム製ダイヤフラムの交換 .....	29
9.10 調整弁とパススルーの保守 .....	31
9.11 パッチ .....	31
9.12 防護服へのマーキング .....	31
<b>10.廃棄 .....</b>	<b>32</b>
10.1.使用終了時の考慮事項 .....	32
<b>11.技術データパッケージ .....</b>	<b>33</b>
11.1 防護服のサイズ .....	33
11.2 防護服の重量 .....	33
11.3 防護服の色.....	33
11.4 素材.....	34
11.5 縫い目の種類とアタッチメント .....	35
11.6 スペアパーツと付属品の一覧 .....	36
11.7 EUタイプ認定データ .....	38
<b>12.保証 .....</b>	<b>43</b>





# 1.安全上の考慮事項

- これらの使用指示書 (IFU) は、アルファテック® EVO®のみを対象としています。
- 本製品は、トレーニングを受け、本書の内容をよく理解しているスタッフのみが使用できます。
- 本製品は、本書に指定された目的のみに使用してください。
- 損傷または不備のある製品は使用しないでください。また、本製品を改造しないでください。
- 補修とお手入れについては、純正のアルファテック® (トレルケム®) スペアパーツのみを使用してください。純正のパーツ以外を使用した場合、機能が損なわれることがあります。

## 1.1 本書で使用されている信号アイコンの定義

本書で使用されている以下のアイコンは、ユーザー、本製品、または環境の安全を危険に晒さないようにするために特に注意が必要な状況またはアクションについて、ユーザーに注意を促すことを目的としています。



### 警告

回避しなかった場合、死または重症につながる可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。



### 注意

回避しなかった場合、身体的損傷または製品または環境の損傷につながる可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。

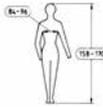


### 注意

本製品の使用方法に関する追加情報を示します。

\* 旧トレルケム® EVO。

## 1.2 防護服のラベルに記載されたマークの定義

<p>CE 0598</p>	<p>本製品は、EUタイプ承認を取得しており、個人用保護具に対するEU規制2016/425に準拠しています。化学防護服は同規制のカテゴリIIIに該当し、0598は製造管理を担当する認証機関の番号です。 0598はSGS Fimko Oyです。</p>		<p>本書は必ずお読みください。</p>
	<p>本製品は化学的防護を提供します。</p>		<p>本製品のサイズ (11.1章参照)</p>
	<p>本製品は感染因子からの保護を提供します (EN 14126)。</p>		
	<p>本製品は放射性物質からの保護を提供します (EN 1073-2)。</p>		

## 2.本製品の説明

アルファテック® EVOは

- 化学防護服（気密防護服）
- 陽圧自給式呼吸器（SCBA）および全面マスク\*と併用
- シングルスキン構造でオーバーカバー不要
- 再利用可能

アルファテック® EVOには、以下の設計があります：

- **タイプCV**：密閉型防護服/タイプ1a、防護服の中にSCBAを背負う用途向けに設計されています。
- **タイプVP1**：特大バイザー付き密閉型防護服/タイプ1a、防護服の中にSCBAを背負う用途向けに設計されています。
- **タイプT**：非閉封型防護服/タイプ1b、防護服の外にSCBAを背負う用途向けに設計されています。

防護服は以下の製品と共に着用します：

- 一体型ソックスまたは取付型ブーツ
- 交換可能なグローブ
- 防護服換気

以下の付属品は、すべての防護服に付属しています：

- 肌触りの良い綿製のインナーグローブ
- シリコンコーティング済みオーバーソックス（一体型ソックスの場合）
- ミニフード（非気密型/タイプT防護服の場合）
- 内側ハンパディング
- ファスナーおよびバイオネットリングシステムのお手入れキット
- バイオネットリングシステム用特別安全ロックピン
- 防護服ハンガー
- 黒ビニール袋
- アルファテック® バッグ
- 使用指示書

\* 本製品は、Interspiro、Scott、Dräger、MSAなど、主なSCBAブランドに対応しています。ヨーロッパのユーザーについては、SCBAはEN 137認証を取得している必要があります。

本製品は、オーバーブーツ（ソックス版の場合）および安全ヘルメットと共に着用する必要があります。

素材、構成部品、および付属品の詳細は、11章を参照してください。

## 3.承認

### 3.1 ヨーロッパEC型式認証

# CE 0598

アルファテック® EVOにはCEマークが付いており、個人用保護具に関するEU規制2016/425でのEU型式認証を取得しており、以下の欧州規格に準拠しています：

- EN 943-1:2015 + A1:2019
- EN 943-2:2019
- EN 14126:2003感染性物質からの保護
- EN 1073-2:2002放射性物質からの保護
- EN 1149-5:2008静電気防止素材

アルファテック® EVOは、認証機関番号0200; FORCE Certification A/S, Park Allé 345, DK-2605 Brøndby, Denmark によるテストおよび承認を受けています。

本製品は、EN 13463-1およびATEX指令によるところの爆発性雰囲気ゾーン0、1、2/20、21、21、グループIIA、IIB、IICで使用した場合に安全であると評価済みです。テストおよび評価レポートDEKRA 11EXAM 10330 BVS-BI、2011年4月を参照してください。

アンセル防護製品のウェブサイトのEU適合宣言ページへのリンク：



 承認取得済みの規格は、製品内側のラベルに記載されています。

### 3.2 NFPA

AlphaTec® EVO密閉型バージョンタイプCV/VP1-ET（ソックス付き）は、オプションの化学フラッシュ防火要件とオプションの液化ガスの保護要件を含むNFPA 1991:2016「危険物の緊急事態のための蒸気保護アンサンブルに関する標準」の認定を受けています。

AlphaTec® EVOは、SEI（米国安全装置研究所）の認定を受けています。



Cert.Mod.(NFPA 1991年、2016年版)

NFPA 1991認定スーツについては、別途IFUを参照してください。

## 4.適切な使用

### 4.1 使用目的

本製品は、気体、液体、粒子状、および固形の化学物質からの保護を提供します。また、バクテリア、ウィルス、および菌類など感染性物質、および放射性物質からの保護を提供します。

### 4.2 使用制限

- 高温および直火を避けてください。
- 本製品は消火活動には使用できません。
- 本製品は、アルファ線、ベータ線、ガンマ線、またはX線など放射線からの保護は提供しません。
- 爆発の恐れのある環境は避けてください。

#### 4.2.1 爆発の恐れのある環境

アルファテック® EVOは、ATEXによるところの爆発の恐れのある環境での使用について認定済みです。3.1章を参照してください。



この認定が有効になるには、防護服が以下の条件を満たしている必要があります：

- 常時日よけ板の外側に取り付けられたティアオフ/アテックスレンズと一緒に装着されている。
- 防護服と一緒に使用されるその他のすべての備品も爆発性雰囲気での使用に適している。これには、SCBA（防護服の外側に装着する場合）、防護服とは別の長靴、防護服のゴム製グローブに重ねて着用するオーバーグローブが含まれます。
- アルファテック® オーバーグローブ#58-800と一緒に使用する場合は、このグローブは導電性がないため、例えば金属製の工具を使う場合など、別途接地措置が必要になる場合があります。

使用前や使用中に防護服に水を噴霧することで、さらに安全性を高めることができます。

### 4.3 使用可能温度

-40°C~+65°C

これより高温または低温での使用は、短時間であれば可能です（NFPA 1991フラッシュ火災および液化ガス試験を参照）。ただし、使用者のヒートストレス/火傷や凍傷にはくれぐれもご注意ください。



蒸気保護服の多くの性能特性または個々の要素は、現場での使用者によりテストできません。

## 5.使用前

ご使用前に以下を確認してください：

- 耐圧試験済みである/漏れがなく破損がないこと（9章参照）
- 防護服およびグローブが正しいサイズであること（11.1章参照）
- タイプTの防護服：ゴムが適切に調整されており、取り付けられていること（5.2.1章参照）
- 曇り止めバイザーであるか、曇り止めジェルが防護服バイザーの内側に塗布されていること（11.6章参照）
- 曇り止めジェルがマスクバイザーの外側に塗布されていること
- 状況に適したアンダーガーメントを着用すること（待機時の制服、消防服など）。  
気温が低い場合や低温の化学物質に接触する危険がある場合は、防寒下着を着用すること。



耐圧試験に合格していない防護服や破損している防護服は絶対に着用しないでください。

### 5.1 着用- 密閉型（タイプCV/VP1）防護服



着用時は必ず他の人の助けを借り、清浄な場所に立つようにしてください。

- 1)（椅子に座る）両足を防護服に入れ、一体型ソックスまたはブーツの先まで脚を通します。
- 2) 一体型ソックスの場合は、シリコン製のオーバーソックスを履き、さらに安全ブーツを履きます。
- 3)（立ち上がる）自給式呼吸器（SCBA）を背負い、通気孔を開きます。
- 4) ヘルメットをかぶります。
- 5) コンフォートグローブをはめます。右腕を右袖とグローブに通します。
- 6) 頭にフードをかぶり、タンクにハンブをかぶせます。
- 7) 左腕を左袖とグローブに通します。
- 8) 換気ホースを弁の吸気口に接続します。



- 9) ファスナーを閉め、スブラッシュガードをかぶせます。ファスナーは、両手を使ってまっすぐ上げます。無理に上げないでください！引かかった場合には、そっと後ろに戻してからもう一度やり直してください。ファスナーがしっかりと閉まっていることを確認します。



ファスナーは丁寧に扱ってください。ファスナーが壊れていると、重大な事故や死亡につながる恐れがあります。

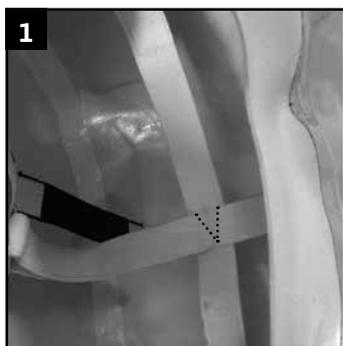
## 5.2 着用 – 非密閉型（タイプT）防護服

### 5.2.1 フードの調整

**i** 防護服を着る前にゴムを取り付けておく必要があります。

防護服には2本のゴムが付属しています。これらをフードの内側に使用すると、顔の周りにしっかりとフェイスシールがフィットします。使用は任意ですが、着用者の顔が小さいまたは細かい場合には、使用を推奨します。ゴムをフードに取り付けると、フェイスシールのフィット感を調節できます。

1) ゴムは十字型をしています。ゴムを「上下逆に」フードの内側に取り付けます（矢印の縫い取りが下を向くようにします）。



2. ゴムをフードの内側にある輪に取り付け、マジックテープで閉じます。



**i** 輪は3つの位置にあり、最適なフィット感を得られる高さにごみを調整できるようになっています。この高さは使用者によって異なります。

## 5.2.2 フェイスピースの装着

正しいサイズの防護服を選び、以下に説明するとおり、防護服/フードフェイスシール上にRPE（呼吸用保護具）フェイスピースを正しく配置し、正しく装着することが非常に重要です。RPEの装着と確認については、RPEの使用指示書およびご自分の地域の職場のRPE選択/使用プログラムを調べてください。



装着方法が正しくないと、うまく装着できなかつたり、保護機能が低下したり、漏れにつながる場合があります。



アルファテック® ミニフードを使用すると、液体の飛び跳ねからさらに保護します。

## 5.2.3 防護服の着用



着用時は必ず他の人の助けを借り、清浄な場所に立つようにしてください。

- 1) (椅子に座る) 両足を防護服に入れ、一体型ソックスまたはブーツの先まで入れます。
- 2) 一体型ソックスの場合は、次にシリコン製のオーバーソックスを履き、さらに安全ブーツを履きます。
- 3) コンフォートグローブをはめます。(立ち上がる) 右手を右袖とグローブに入れます。
- 4) 左手を左袖とグローブに入れます。
- 5) フードを頭にかぶり、フェイスシールを調節します。
- 6) ファスナーを閉め、スブラッシュガードをかぶせます。ファスナーは、両手を使ってまっすぐ上げます。無理に上げないでください！引かなかった場合には、そっと後ろに戻してからもう一度やり直してください。ファスナーがしっかりと閉まっていることを確認します。



ファスナーは丁寧に扱ってください。ファスナーが壊れていると、重大な事故や死亡につながる恐れがあります。

- 7) マスク以外の呼吸具を装着します。
- 8) 換気ホースを調節弁の吸気口に接続します。



- 9) フェイスマスクを装着します。マスクをグレーのフェイスシールの上に置きます。顎から始め、フェイスマスクを（防護服の素材ではなく）フェイスシールにしっかりと密着させてください。ハーネスを頭にかぶり、ストラップを締めます。
- 10) マスクの位置を誰かにチェックしてもらい、フェイスシールにしわが寄らないようにしてください。しわは漏れの原因になります。
- 11) 液体の化学物質がはねる恐れがある場合は、ミニフードもかぶります。
- 12) ヘルメットをかぶります。これで、準備完了です。



**免責事項：**アルファテック®タイプTの防護服は、異なる2種類のSCBAブランド（InterspiroとDräger）を使用して、PPE、EN 943-1、およびEN 943-2について、EU規制2016/425の要件に対して試験済みで承認を取得しています。異なるさまざまなRPEのブランドおよびタイプ、異なるフェイスマスク、異なる使用者、異なる作業操作、さまざまな職場条件と使用状況等でRPEプラス防護服システムで得られる保護因子がどのようなものになるかをアンセルが前もって知ることは不可能です。



**英国内使用者向けの注意事項：**

EU規制2016/425および各職場にあるRPEの選択と使用のための任意のプログラムに加えて、装着試験の実施に対する健康有害物質管理規則2002（修正版）およびOC 282/28ガイドラインで承認された実施規則でも、一緒に使用する個人用保護用具と一緒にフェイス装着試験を実施することが要求されます。装具を最初に装着する前に、およびその後に装用者の顔の形を変化させる可能性があるような環境の変化が発生した場合はその後に、装具が十分うまく装着できることを確認するためにこの試験を実施してください。

## 6.使用中

介入時には以下を確認してください：

- 化学物質への接触は最小限に抑えること
- できる限り化学物質に直接触れないようにすること

### 6.1 マノメーター/圧力計のチェック手順

密閉型（タイプCV/VP1）防護服に適用されます。

マノメーター/圧力計をチェックするには、手をグローブから出す必要があります：

- 1) 左手で右のグローブをつかみます
- 2) 右手を防護服の中に入れます
- 3) マノメーター/無線/その他をチェックします
- 4) 右手を再びグローブの中に戻します
- 5) 左手を防護服の中に入れるには、代わりに右手で左のグローブをつかみます

### 6.2 防護服の換気の調節

 保護規格では、防護服の換気は必須でないため、使用はオプションです。

- 2L/分：防護服内の圧力を上げることにより、穴が開いたときの化学物質の侵入を防ぐための標準換気率。
- 30L/分：防護服内の空気の温度と湿度が上がった場合、使用者は一時的に換気率を30L/分に調整し、同時に防護服を加圧することができます。この操作により、防護服内の高温多湿の空気を抜くことで、防護服内の環境が多少快適になります。
- 100L/分使用者の快適さは増しますが、外部から空気を供給するエアラインパススルー（CV/VP1防護服のみ）が防護服に装着されている場合のみ使用してください。



SCBAタンクのみ使用時には、絶対に100L/分の換気率を使用しないでください。この換気率を使用すると、空気が急速に抜け、使用者が呼吸する空気がなくなり、窒息の危険があります。

## 7.使用後

### 7.1 初回の除染

危険な環境で活動した後は、着用者の汚染を防ぐため、防護服を脱ぐ前に除染する必要があります。

- 除染には介助者が必要です。
- 介助者も適切な防護服を着用し、場合によっては呼吸用保護具を装着する必要があります。
- たっぷりの水（できれば洗剤入り）で防護服をすすぎます。

### 7.2 防護服の脱衣

除染後、着用の説明と逆の順序で防護服を脱ぎます。他の人に介助を依頼します。

### 7.3 最終除染

初回の除染では不十分な場合、2回目の除染が必要です。

- 汚染された防護服を扱うときは、保護服/装置を使用してください。
- 酸性およびアルカリ性の化学物質は、大量の水を使って除染できます。すすぎの水がpH7になったら、防護服は除染できています。
- 多くの場合、無機化学物質は、大量の水と洗剤を使って除染できます。
- 揮発性の化学物質は、防護服を干すことで除染できます。防護服は、ファスナーを全開にして戸外、または風通しの良い場所に干します。シンプルなガス検知管を使用して、空気中に残っている化学物質をチェックします。
- 化学兵器（CWA）は、30%の次亜塩素酸カルシウム水溶液などを使用して除染できます。
- 油/石油などの化学物質およびその他の有機物質は、特殊な除染剤が必要な場合もあります。市販されている除染剤の種類は、国や地域ごとに異なります。各国のサプライヤーまでお問い合わせください。
- 生物兵器（バクテリア、ウィルスなど）は、3%の過酸化水素水溶液またはその他類似の消毒剤を使用して除染できます。

## 8.保管



防護服は折りたたまず保管し、年に1度は点検してください（9章参照）。

### 8.1 保管条件

- 湿気を避ける、湿度50 ± 30%
- 室温、5～30℃
- 直射日光を避ける
- オゾン発生源を避ける（電気エンジン、蛍光灯、およびエアコンなど）

### 8.2 保管方法

防護服は以下の条件で保管してください：

- 納品時と同じ状態でたたむか、吊るす
- 納品時に入っていたビニール袋または製品が適切に収まる別の袋または箱に入れる
- 柔らかい袋に入れて保管する場合は、重ねて保管しないでください。重量または圧力が多くかかりすぎるとバイザーが壊れる場合があります
- 箱に入れて保管する場合は、防護服を押し込まなくても簡単に収納できる大きさがあることを確認してください。アルファテック®総価格表にリストされているボックスを参照してください。
- 吊るして保管する場合、ブーツ付き防護服のブーツが床に付くことを確認し、肩に余計な負荷がかからないようにしてください
- たたんで保管する場合は、フェイスシールをできるだけ平らにし、きつく折り曲げないようにしてください
- ファスナーは、約10cmの開きを残してほぼ全部閉めます



車内や容器に防護服を保管する場合は、接触面との恒常的な摩擦による磨耗を避ける必要があります。

### 8.3 保管寿命

保管寿命とは、着用保管寿命とは、未使用で保管される防護服の寿命です保管寿命は、最適な保管条件（上記参照）に適用され、保証は約束されません。推奨される保管寿命は製造日から10年ですが、多少前後することもあります。最長15年です。したがって、防護服の状態を定期的にチェックし、良好な状態であるかどうかを見極める必要があります（9章参照）。

## 8.4 防護服の折りたたみ

- 1) 約10cmの開きを残してファスナーを閉めます。



- 2) 防護服を上下逆さにします。  
a) タイプCV/VP1：ハンブを平らにします。



- 3) そでを真ん中にたたみます。



- 4) 足を以下のようにたたみます。  
a) ブーツモデル：ブーツを腰に合わせてたたみます。



- b) ソックスモデル：ソックスを脚に入れ、足を腰に合わせてたたみます。



- 5) 真ん中で二つ折りにします。



- a) タイプT防護服の場合：フェイスシールができるだけ平らになるように置きます。



- 6) 防護服を保管袋または保管箱に入れます。

## 9.保守

### 9.1 保守スケジュール

以下に指定する保守間隔はアンセルによる推奨です。付属装置については（SCBA、全面マスク、ヘルメットなど）、関連する使用指示書を参照してください。

以下に説明する保守は、本書の指示に従うことを条件に、正式なトレーニングを受けていないスタッフが実行できます。スペアパーツと付属品の一覧については、11.6章を参照してください。

領域 (章)	納品時	使用后	補修後	年1度	5年に1度	破損した場合
目視検査 (9.2)	X	X	X	X		
気密性 (9.3)	X	X	X	X		
洗浄 (9.4)		X				
ファスナーに油を差す (9.5)		X		X		
バイオネットOリングに油を差す (9.6)		X		X		
<b>補修と交換</b>						
防護服素材のパッチ (9.11)						X
バリアインナーグローブ (9.7)		X				X
ゴム製グローブ (9.7)		X(*)				X
ゴム製袖口 (9.8)					X	X
フェイスシール					X	X
バイオネットOリング (9.6)					X	X
バイオネットロックピン (9.6)					X	X
アルファテック®排気弁のダイヤフラム (9.9)					X	X
調整弁とパススルーの保守 (9.10)					X	X

(\*) 化学物質で汚染された場合には、ゴム製グローブの交換が必要です。

**i** フェイスシール、バイザー、ブーツ、およびファスナーの補修または交換については、アンセルサービスセンターまでお問い合わせいただくか、アンセル主催のトレーニングコースを受講してください。

## 9.2 防護服の目視検査

検査では次の手順に従ってください：

- 内側と外側の目視検査。
- 素材、縫い目、バイザーまたはフェイスシール、ブーツ（装着した場合）、インナーおよびアウトアグローブの表面の損傷の確認。
- 鮮やかさ、固さ、ふくらみ、粘着性、または化学分解や劣化を示すその他の現象の確認。
- ファスナーおよびファスナー金具のチェック。
- バイオネットグローブリングシステムの機能のチェック。
- 排気弁の機能および防護服の換気調整弁/パススルー（装着されている場合）のチェック。これらがしっかりと取り付けられており、損傷していないことを確認します。



不具合/異常が見つかった場合には、防護服の使用を中止する必要があります。



検査で判明したメモを検査ログに書き込みます。

## 9.3 ISO 17491-1に沿った気密性のテスト

ISO 17941-1は、EN 464に代わるものです。

テスト装置：アルファテック®（トレルテスト）装置、11.6章参照。

その他の装置（アルファテック®防護服向けアダプター付きLabTechテスターなど）も使用できます。

### 9.3.1 密閉型防護服タイプCV/VP1のテスト

手順：

- 1) 防護服を清潔な表面（できればテーブル）に置きます。
- 2) 排気弁番号1：外側の排気弁カバーを取り外し（9.9章参照）、密閉栓を挿入します。
- 3) 保持カラー（1個）を密閉栓に追加し、時計回りに締めます。
- 4) 排気弁番号2：外側の排気弁カバーとダイアフラムを取り外します（9.9章参照）。
- 5) 保持カラー（1個）を黒アダプターに配置します。
- 6) 黒アダプターをグレイのテストアダプターにネジ止めし、しっかりと接続します。
- 7) 黒アダプターを排気弁に押し込み、次に保持カラーを締めます。
- 8) ファスナーを閉じます。
- 9) テストアダプターのニップルを経由して圧力計を接続します。
- 10) 空気注入器で防護服を1750 Pa/17.5 mbarまで膨らませます。
- 11) アダプターの弁を使って圧力を1700 Pa/17.0 mbarまで下げます。これは、テスト前の膨張圧です。この圧力を10分間維持します。必要に応じて空気を追加します。
- 12) 圧力を1650 Pa/16.5 mbarに調整します。これがテスト圧力です。タイマーを設定および開始し、6分待ちます。

 テスト中は防護服に触れないでください。

- 13) 6分経過後の圧力をメモします。この圧力が1350 Pa/13.5 mbar異常であれば、防護服のテストは合格です。最終的な圧力を防護服のログに記録します。
- 14) 圧力テスト終了後、圧力計をテストアダプターから外し、テストアダプターと密閉栓を排気弁から外します。
- 15) ダイアフラムを元通りに取り付ける前に、ダイアフラムにほこりがないことを確認します。
- 16) 両排気弁のカバーを元通りに取り付けます。

 防護服がこのテストに合格しなかった場合には、使用を中止する必要があります。

### 9.3.2 非密閉型防護服タイプTのテスト

手順：

- 1) 防護服を清潔な表面（できればテーブル）に置きます。
- 2) 外側の排気弁カバーを取り外し（9.9章参照）、密閉栓を挿入します。
- 3) 保持カラー（1個）を密閉栓に追加し、時計回りに締めます。
- 4) フェイスプレートフェイスシールに取り付けます。•フェイスシールプレートのナットを緩め、トップリングを取り外します。•フェイスシールの下にプレートを置きます（内側から挿入します）。•フェイスシールを調整して、ナットに触れずにプレートの外側部分を覆うようにします。•トップリングを元に戻し、ナットを締めます。
- 5) ファスナーを閉じます。
- 6) フェイスシールプレートのニップルを経由して圧力計を接続します。
- 7) 空気注入器で防護服を1750 Pa/17.5 mbarまで膨らませます。
- 8) フェイスシールプレート/アダプターの弁を使って圧力を1700 Pa/17.0 mbarまで下げます。これは、テスト前の膨張圧です。この圧力を10分間維持します。必要に応じて空気を追加します。
- 9) 圧力を1650 Pa/16.5 mbarに調整します。これがテスト圧力です。タイマーを設定および開始し、6分待ちます。

 テスト中は防護服に触れないでください。

- 10) 6分経過後の圧力をメモします。この圧力が1350 Pa/13.5 mbar異常であれば、防護服のテストは合格です。最終的な圧力を防護服のログに記録します。
- 11) 圧力テスト終了後、圧力計をフェイスプレートから外し、フェイスプレートを外し、密閉栓を排気弁から外します。
- 12) 排気弁のカバーを元通りに取り付けます。

 防護服がこのテストに合格しなかった場合には、使用を中止する必要があります。

### 9.3.3 マスク付き非気密型タイプT防護服のテスト

#### 手順：

- 1) 防護服を清潔な表面（できればテーブル）に置きます。
- 2) マスクメーカー提供の栓でブリージング弁を塞ぎます。
- 3) 9.3.1章の第4パラグラフの手順に従って続行します。

## 9.4 洗浄

除染のガイドラインについては、7章を参照してください。

### 9.4.1 手洗い

防護服は手洗いすることを推奨します。

- 中性洗剤を含むぬるま湯（40℃）で手洗いします。
- 柔らかい布または滑らかなブラシを使って防護服を洗います。



素材を引っかいたり痛めたりしないように気をつけてください。

- 自然乾燥するか、ファンを使用します（またはTopTrock®などの洗浄システムを使用します）。
- 油などの物質のシミは、揮発油でやさしく洗い落とします。その後、マイルドな洗剤を入れたぬるま湯ですすぎ、さらに水ですすぎます。



防護服は、きれいに洗い、完全に乾かしてから使用してください。

防護服の素材には、ほとんどの市販の消毒剤を使用できます。ご不明な点は、お近くのアルファテック®販売店またはAnsell Protective Solutions ABまでお問い合わせください。

### 9.4.2 洗濯機洗い

洗濯機を使う場合、洗濯機は化学防護服の洗浄用に特別に設計された、以下の条件を備えたものである必要があります：

- ドラムの直径が大きい
- 使用水量が多い
- 回転式でなく振動式ドラムである
- マイルドな洗剤



防護服の洗濯機洗浄はお客様の選択であり、責任です。

ご不明な点は、お近くのアルファテック®販売店またはAnsell Protective Solutions ABまでお問い合わせください。

## 9.5 ファスナー

### 9.5.1 機能

ファスナーは防護服の重要なパーツであると同時に、壊れやすい部分であるため、慎重に取り扱う必要があります。

**!** ファスナーが壊れていると、重大な事故や死亡につながる恐れがあります。

- つまみに取り付けられた輪に2本の指を入れてつまみを引っばります。
- ファスナーに対して常にまっすぐ並行につまみを引っ張ってください。横方向に引っ張るとファスナーを深刻に痛めることがあります。
- 閉めるときは、防護服またはアンダーガーメントの素材がファスナーに引っかからないようにしてください。
- つまみが噛んだり、動かない場合には、反対方向に引いて原因を確かめ（例：汚れまたは衣服の素材がチェーンに引っかかっている）、問題を解決します。その後、再びゆっくりと引っ張ります。
- 問題を解決するために強く引くことは絶対にしないでください。ファスナーが壊れてしまいます。

### 9.5.2 お手入れ

手順：

- 1) 金属パーツが清潔であることを確認します。
- 2) ファスナーを開けます。
- 3) チェーンをやさしく曲げてみて、破損がないかどうかチェーンの両側をチェックします。
  - a) 清浄なファスナーは丸みを帯びて曲がります。



- b) 壊れたファスナーはV字形に曲がります。



- 4) ファスナーを閉じます。
- 5) 内側および外側の金属パーツにワックスをかけます。



**!** 防護服を再び使用する前に、圧力テストを実施する必要があります。

## 9.6 バイオネットリング

### 9.6.1 機能

アルファテック® (トレルケム®) バイオネットリングシステムは、以下のパーツで構成されています：

**スリーブリング** - 防護服の袖に接着します

**グローブリング** - グローブを取り付けます

**インナーリング\*** - ゴム製グローブのシャフトの内側に入ります

**バイトン®ラバーOリング** - スリーブリングに1つ、グローブリングに1つ。ゴム製グローブと共に、システムの三重シールを提供します。

**安全ロックピン** - システムが意図せず開くことを防ぎます



#### 閉ポジション

緑のマークと白いマークが対になっています。システムを開いてグローブアセンブリを取り外すには、赤いロックピンを外し、2つのリングを同時に押し、白いマーク同士が対になるまで反時計回りにひねります。



#### 開 (取り外し/取り付け) ポジション

白いマークが対になっています。グローブリングを取り付けるには、白いマークを合わせ、2つのリングを同時に押し、白いマークがグリーンマークと対になるまで時計回りにひねります。赤いロックピンを差し込みます。

\* 防護服にインナーバリアグローブを含むまたは3パーツのグローブアセンブリが装着されている場合、インナーリングはバリアグローブシャフトに溶接されています。

## 9.6.2 お手入れ

### 手順：

- 1) バイオネットリングを開き、2つのOリングを取り出します。
- 2) モリコート溝全体に塗布します。
- 3) Oリングを交換する場合：2つの新しいOリングを取り付けます。
- 4) 小さいブラシでグリースを均等に伸ばします。



正常に機能しているときは、安全ロックピンを指で押すとカチッと音を立ててはまりません。繰り返し使っていると、ピンがあまりにも簡単にはまるようになります。これは磨耗したためで、交換が必要です。



 2つのOリングは違うサイズです。直径が大きい方がグローブリングに入り、小さい方がスリーブリングに入ります。

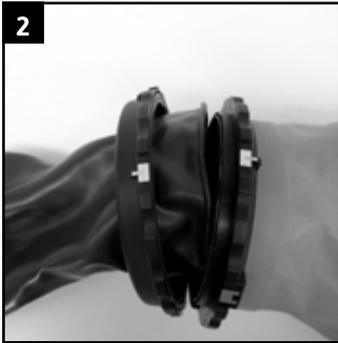
 防護服を再び使用する前に、圧カテストを実施する必要があります。

## 9.7 グローブの交換

防護服には、シングルゴム製グローブ、またはインナーバリアグローブとアウターゴム製グローブで構成されている2パーツのグローブシステムのいずれかを装着できます。

手順：

- 1) 安全ロックピンを取り外します。
- 2) リングを互いに押し付けて時計回りに回し、リングシステムを開きます。



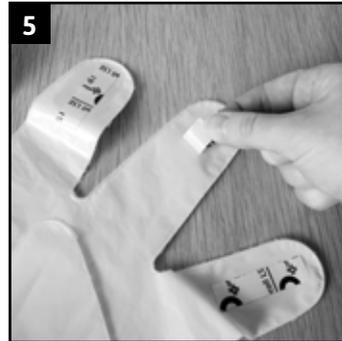
- 3) グローブをリングから引き抜きます。二重グローブシステムの場合は、インナーバリアをゴム製グローブから引き抜きます。

**i** ゴム製グローブのみの場合は、ステップ8へ進みます。

- 4) インナーリングに溶接されているアルファテック® 02-100 バリアインナーグローブのみを使用できます。



- 5) インナーグローブの各指についている白い保護フィルムをはがします。これにより、粘着エリアが現れます。この粘着エリアによって、アウターグローブ内でインナーグローブが固定され、手を抜いたときにインナーグローブがアウターグローブ内にとどまります。



- 6) インナーグローブをアウターゴム製グローブに押し込みます。インナーグローブのすべての指をアウターグローブの指の中に入れてください。



- 7) アウターグローブとインナーグローブの指を一緒に押し、接着させます。

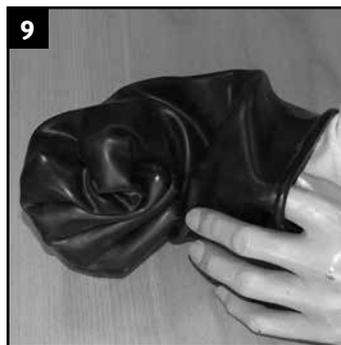


- 8a) ゴム製グローブのみの場合は、黒いインナーリングをゴム製グローブの約5 cm/2インチの位置につけます。

- 8b) 二重グローブシステムの場合は、インナーグローブのリングをゴム製グローブの約5 cm/2インチの位置まで押します。



- 9) 二重グローブシステムの場合は、片手をグローブに入れ、こぶしを握ります。同時に、もう一方の手の指をリングとアウターグローブの間に入れ、2枚のグローブの間に閉じ込められた空気を抜きます。



- 10) Oリングにモリコートを塗布します。

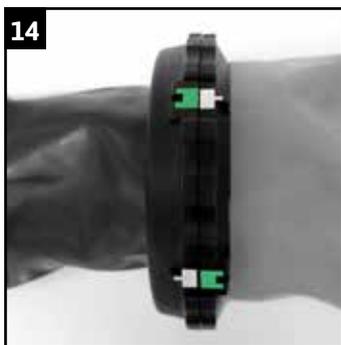
- 11) グローブをグローブリングに通し、グローブの親指をグローブリングの緑のマークに合わせます。親指を使ってしっかりと固定します。



- 12) グローブシャフトをグローブリングに折り込みます。

- 13) 白いマークが対になるようグローブリングとスリーブリングを合わせます。

- 14) 2つのリングを互いに押し付け、反時計回りに回し、白いマークと緑のマークが対になるようにします。



- 15) 安全ロックピンを取り付けます。



防護服を再び使用する前に、圧力テストを実施する必要があります。

## 9.8 ゴム製袖口の交換

ゴム製袖口はオプションの付属品で、アウトターグローブに穴が開いた場合の安全を確保します。

手順：

- 1) 防護服の袖の内側から古いカフを取り出します。



- 2) 防護服の内側から新しいカフリングアセンブリをスリーブリングに取り付けます。



- 3) カフがまっすぐになっていることを確認します。しっかりと押し込みます。防護服素材がカフとスリーブリングの間に挟まらないようにしてください。



防護服を再び使用する前に、圧力テストを実施する必要があります。

## 9.9 弁のゴム製ダイアフラムの交換



これらの指示に従って、アルファテック® 排気弁からカバーを取り外します。

防護服を平面に置き、胸部にある排気弁を見つけます。



弁のカバーを取り外すとき、内側の弁保持カラーを持たないでください。弁が緩んで防護服から外れることがあります。

手順：

- 1) 外側の弁カバーを外すには、まず、カバーラグが弁箱ストップの6～8 mm 先に来るまでカバーを時計回りに回します。



てこの原理を使用して無理に外そうとしないでください。排気弁を痛めることがあります。



- 2) カバーラグと弁箱ストップの間に薄いブレードを慎重に挿入します（刃物は使用しないでください）。



- 3) 弁カバーをゆっくり動かしてブレードの上を反時計回りに回転させます。これで、カバーラグが弁箱ストップを過ぎて動くようになります。弁カバーが弁箱から外れるまで、この動作を繰り返します。



- 4) 古いダイヤフラムを取り外して廃棄します。



- 5) 取り付ける前に新しいダイヤフラムが清潔であることを確認します。
- 6) 排気弁カバーを再び取り付けるには、カバーを時計回りに回して弁箱に取り付け、カバーラグと弁箱が3回カチッというまでカバーを回します。

斜めに締めないよう注意してください。



防護服を再び使用する前に、圧力テストを実施する必要があります。

## 9.10 調整弁とパススルーの保守

指示書は、アルファテック®（トレルケム®）サービスキットに添付されています（11.6参照）。

-  上記の保守スケジュールに記載されている保守間隔は、取り付けられている弁/パススルーがアルファテック®（トレルケム®）ブランドである場合のみに適用されます。その他のブランドのパススルーについては、各メーカーの指示書を参照してください。

## 9.11 パッチ

破れ、穴、引っかき傷など軽度の損傷については、アルファテック®（トレルケム®）補修キットを使用してパッチを当てることができます。このキットには指示書も添付されています（11.6章参照）。

## 9.12 防護服へのマーキング

防護服へのマーキングは油性ペンで行えます。

-  防護服を収納するときは、インクが乾いてからたたんで/梱包してください。

防護服へのマーキング用のラベルをオプションで販売しています。

## 10.廃棄

古くなった防護服は、各地域のゴム/プラスチックごみ規制に従って廃棄する必要があります。焼却を推奨します。

完全に除染されていない防護服は、各地域の特定化学物質規制を考慮の上、安全な方法で廃棄する必要があります。

### 10.1.使用終了時の考慮事項

以下の1つ以上の基準に該当する場合は、防護服の使用を終了してください：

使用中止の基準	説明
年数	使用方法に関わらず、まだ検査や圧力テストに合格する見込みがある場合でも、防護服は15年間使用后、使用を中止する必要があります。
補修できない	損傷が激しいため補修できないか、補修すると安全性が確保できない。
	防護服がすでに10回パッチを当てられている。
	補修費用が新しい防護服の購入額を上回っている。
化学分解	化学分解は停止または補修できない。

 使用年数が経過したため使用を終了する防護服は、まだトレーニングに使用できます。

 トレーニング用防護服には「トレーニング」と明記し、本番使用/使用中の防護服と間違えないようにしてください。

## 11.技術データパッケージ

### 11.1 防護服のサイズ

防護服のサイズ	身長 (cm)	胸囲/バスト
XXS	158~170	80~88
XS	164~176	84~92
S	170~182	88~96
M	176~188	92~100
L	182~194	96~104
XL	188~200	100~108
XXL	194~206	104~112
XXXL	200~212	108~116

注：データは、SCBAまたはその他一切の装置をつけずに着用した場合です。

### 11.2 防護服の重量

約6.0 kg / 13 lbs (タイプCV/VP1防護服サイズL一体型ソックス付き)。

約5.0 kg / 11 lbs (タイプT防護服サイズL一体型ソックス付き)。

取付型ブーツまたは別売の安全ブーツを着用すると、約2 kg / 4.5 lbs増えます。

### 11.3 防護服の色

内側が白色の赤色。オプションの色は、内側が白色のオリーブグリーンです。

## 11.4 素材

防護服のパーツ/構成部品	説明
防護服の素材：	アラミド繊維（外側はバイトン®/ブチルゴム、内側はポリマーバリアラミネートコーティング）。Ansell Protective Solutions ABの所有物です。
バイザーの素材：	2mmの耐衝撃性PVC
フェイスシールの素材：	天然ゴム/クロロプレンゴム
グローブの素材：	2パーツグローブシステム： インナーグローブ：アルファテック® #02-100 インナーグローブ、バリアラミネート製 ゴム製グローブ：アルファテック®、#38-628、バイトン®/ブチルラバー製
フットウェアの素材：	一体型ソックス：防護服の素材が原料 取付型ブーツ：ニトリルゴム
ファスナーの素材：	マジックテープで閉じる外側のスブラッシュガードで保護された苛酷な使用に耐えるファスナー。  長さ：タイプCV/VP1の防護服：1350 mm タイプTの防護服：1050 mm  テープ：外側と内側をクロロプレンゴムでコーティングされ、バリアフィルムが織り込まれたポリエステル繊維 チェーン：白銅合金 つまみ：青銅（銅/スズ合金）
排気弁：	気密型防護服：2個/防護服、フードの裏側にある 非気密型防護服：1個/防護服、胸部にある  <b>構造：</b> 弁座/ワッシャー/ ナット/カバー：ガラス繊維強化ポリプロピレン 弁/防護服ガスケット：クロロプレンゴム ダイアフラム（膜）：シリコン

## 11.5 縫い目の種類とアタッチメント

縫い目/アタッチメント	説明
<b>防護服の素材の縫い目：</b> 糸： 内側のテープ： 外側のテープ：	アラミド繊維（外側はバイトン®/ブチルゴム、内側はポリマーバリアラミネートコーティング）。Ansell Protective Solutions ABの所有物です。 アラミド バリアラミネートテープ、縫い目に熱溶接 バイトン®ゴムテープ、縫い目に接着
<b>バイザーアタッチメント：</b> 内側のテープ： 外側のテープ：	バイザーは防護服に接着されており、内側と外側が密閉されています。 繊維強化コートゴム、縫い目に接着 バイトン®ゴムテープ、縫い目に接着
<b>フェイスシールアタッチメント：</b> 内側のテープ： 外側のテープ：	フェイスシールは防護服に接着されており、内側と外側が密閉されています。 繊維強化コートゴム、縫い目に接着 バイトン®ゴムテープ、縫い目に接着
<b>グローブアタッチメント：</b>	グローブはバイオネットリングシステムに取り付けられています（9.6章参照）。 リングは防護服に接着されています。
<b>ブーツアタッチメント：</b>	ブーツは金属バンド/プラスチックリングシステムに取り付けられています。
<b>ファスナーアタッチメント：</b> 糸： 内側のテープ： 外側のテープ：	ファスナーは防護服に縫い付けられており、内側と外側が密閉されています。 アラミド 繊維強化コートゴム、縫い目に接着 バイトン®ゴムテープ、縫い目に接着
<b>排気弁：</b>	ネジとナットで防護服に取り付けられています
<b>調整弁とパスルー：</b>	ネジとナットで防護服に取り付けられています

## 11.6 スペアパーツと付属品の一覧

説明と名称	サイズ	製品番号
<b>グローブ：</b>		
アルファテック® #02-100 インナーグローブ	10 11	K72 251 365 K72 251 465
アルファテック® #38-628 バイトン®/ プチルラ ミネート製グローブ	8 9 10 10.5 11	K72 818 339 K72 818 340 K72 818 341 K72 818 342 K72 818 343
アルファテック® #58-800 オーバークローブ	11	K72 252 215
綿コンフォートグローブ	10	K72 240 200
<b>フットウェア：</b>		
ニトリルゴムブーツ	40.5 42 43 44 45 46.5 48	K72 204 410 K72 204 420 K72 204 430 K72 204 440 K72 204 450 K72 204 470 K72 204 480
<b>バイザー/フェイスシールド付属品：</b>		
曇り止めレンズ	CV VP1	K72 270 400 K72 270 300
曇り止めジェル		K69 000 710
ティアオフ（傷防止）レンズ、10枚	CV VP1	487 030 050 487 030 040
ハンズフリーバイザーライト*	CV VP1	487 030 101 487 030 100
フェイスシールド	T	K72 502 000
<b>防護服換気 &amp;エアラインパススルー：</b>		
アルファテック®（トレルケム®）調整弁*	CV/VP1 T	K72 141 600 K72 141 500
アルファテック®（トレルケム®）一体型 調整弁&パススルー*	CV/VP1	サプライヤーまたはアンセル までお問い合わせください。

\* 指示書添付

説明と名称	サイズ	製品番号
<b>保管：</b>		
アルファテック®バッグ		487 100 440
ハンガー	CV/VP1 T	K72 400 200 K72 400 100
保管箱、プラスチック	CV/VP1 T	K78 700 130 K78 700 120
<b>テスト設備：</b>		
アルファテック® (トレルテスト) 装置*	CV/VP1/T	487 090 078
<b>お手入れと補修：</b>		
ファスナーワックスキット		K70 000 410
バイオネットリングシステム用潤滑剤		K69 095 005
スリーブリング用バイトンOリング、10個		K72 000 606
グローブリング用バイトンOリング、10個		K72 000 611
バイオネットリングシステム用安全ロックピン		K73 103 585
アルファテック®排気弁、一式		K73 103 000
アルファテック®排気弁ダイアフラム		K73 102 050
保守キットアルファテック® (トレルケム®) 調整弁&パススルー*		K72 141 100
アルファテック® EVO用補修キット、レッド*		487 080 325
アルファテック® EVO用補修キット、オリーブグリーン		487 080 330

\* 指示書添付

## 11.7 EUタイプ認定データ

EUタイプ認定（P8）を参照してください。EN 14325:2004、EN 14325:2018、および EN 14126:2003に準拠したテストおよび等級付け。

すべての化学試験は、実際の作業環境ではなく実験室条件下で防護服素材のスワッチに対して実行されたことを記載する必要があります。実験室条件下で得られた結果が実際の使用状況に適用可能であるかは、ユーザーが判断する必要があります。掲載の情報は、通知なく変更されることがあります。

防護服素材と縫い目 - メカニカルデータ			
プロパティ	テスト方法	クラス要件	クラス
摩擦抵抗	EN 14325:2004/2018、 EN 530	> 2000サイクル	6
屈曲亀裂抵抗	EN 14325:2004、 ISO 7854:B	> 15000サイクル	4
屈曲亀裂抵抗	EN 14325:2018、 ISO 7854:B	> 8000	4
屈曲亀裂 -30°C	ISO 7854:B	> 2000	5
引き裂き抵抗	EN ISO 9073-4	> 40 N	3
引っ張り強度	EN ISO 13934-1	> 1000 N	6
突き刺し抵抗	EN 863	> 50 N	3
耐燃性	EN 13274-4 メソッド3	5秒間直火にかけた後、 漏れなし	3
制限付炎拡散指数(LFI)	EN ISO 14116:2015	穴なし。残炎/残光 ≤ 2 s	3
静電気防止特性、 素材	EN 1149-5:2008	$S > 0.2$ $t_{50} < 4 s$	合格
縫い目強度	ISO 5082	> 500 N	6
ファスナーの強度	EN 943-1:2015、 ISO 5978	> 500 N	6

防護服の素材と縫い目 - 化学物質の耐浸透性			
化学物質	防護服の素材	縫い目	バイザー縫い目
アセトン	6	6	5
アセトニトリル	6	6	6
無水アンモニア (気体)	6	6	6
二硫化炭素	6	6	6
塩素 (気体)	6	6	6
ジクロロメタン	6	6	6
ジエチルアミン	6	6	6
酢酸エチル	6	6	6
ヘプタン	6	6	-
ヘキサン	6	6	6
塩化水素 (気体)	6	6	6
メタノール	6	6	6
水酸化ナトリウム、40%	6	6	6
硫酸、96%	6	6	6
テトラヒドロフラン	6	6	5
トルエン	6	6	6

浸透破過時間の等級						
クラス	1	2	3	4	5	6
浸透時間	> 10分	> 30分	> 1時間	> 2時間	> 4時間	> 8時間

構成部品 - 化学物質の耐浸透性			
化学物質	バイザー	ニトリルゴムブ ーツ	HCR ファスナー
アセトン	5	5	6
アセトニトリル	6	5	6
無水アンモニア (気体)	6	6	6
二硫化炭素	6	6	5
塩素 (気体)	6	6	6
ジクロロメタン	4	3	3
ジエチルアミン	6	6	2
酢酸エチル	6	6	6
ヘプタン	6	≥3	6
ヘキサン	6	6	6
塩化水素 (気体)	6	6	6
メタノール	6	6	5
水酸化ナトリウム、40%	6	6	6
硫酸、96%	6	6	6
テトラヒドロフラン	5	5	1
トルエン	6	6	6

構成部品 - 化学物質の耐浸透性		
化学物質	アルファテック® #38-628 グローブ	ALPHATEC® #02-100 グローブ
アセトン	6	6
アセトニトリル	6	6
無水アンモニア (気体)	6	1 <sup>1</sup>
二硫化炭素	6	6
塩素 (気体)	6	5 <sup>1</sup>
ジクロロメタン	3 <sup>2</sup>	2 <sup>1, 2</sup>
ジエチルアミン	2 <sup>1</sup>	6
酢酸エチル	4 <sup>1</sup>	6
ヘプタン	6	6
ヘキサン	6	6
塩化水素 (気体)	6	5 <sup>1</sup>
メタノール	6	6
水酸化ナトリウム、40%	6	6
硫酸、96%	6	6
テトラヒドロフラン	2 <sup>1</sup>	6
トルエン	6	6

<sup>1)</sup> バリアインナーグローブと別のグローブの組み合わせにより、少なくとも2つのグローブの良好な保護を提供します。バリアインナーグローブを単独で使用する場合 (推奨されません)、アンモニアに対する保護は限定されます。

<sup>2)</sup> バリアインナーグローブをアルファテック® #38-628グローブと組み合わせて使用する場合は、ジクロロメタンについてクラス5が得られます。

防護服の素材 – 耐感染因子浸透性	
化学物質	防護服の素材
合成血液 (ISO 16603:2004)	6
Phi-X174バクテリオファージ (ISO 16604:2004)	6
黄色ブドウ球菌を使用して生物学的に汚染された噴霧剤 ATCC 6538 (ISO/DIS 22611:2003)	3
枯草菌を使用した乾燥細菌浸入 (ISO 22612:2005)	3
黄色ブドウ球菌を使用した湿潤細菌侵入 ATCC 29213 (EN ISO 22610)	6
EN 14126 – 感染因子に従ったテストおよび等級。	

## 12.保証

グローブ、およびその他の付属品を含む防護服に不良または不具合が発生した場合、以下が適用されます。

防護服の何らかの使用、機能、または状態の途中で、あるいはその結果として防護服に不良または不具合が発生した場合、購入者は防護服を購入した会社までお問い合わせください。この場合、購入者と上記会社の間で合意された販売条件が適用されます。Ansell Protective Solutions ABは、防護服の購入者に対する責任は一切負いません。ただし、その防護服がAnsell Protective Solutions ABからの直接購入である場合を除きます。

防護服の不良または不具合に対するAnsell Protective Solutions ABの責任は、産業用ゴム製品の「一般納入条件」に規定された標準保証に従います。ただし、Ansell Protective Solutions ABと購入者の間で別途書面で規定されている場合を除きます。一般納入条件は要請によりご提供いたします。または<http://protective.ansell.com/en/About/Trade-conditions/>からダウンロードできます。

本書は、Ansell Protective Solutions ABによるいかなる保証も提供するものではありません。Ansell Protective Solutions ABは、商品適格性または適合性の暗示的保証を明示的に除外します。Ansell Protective Solutions ABは、いかなる方法でも、またはいかなる状況においても、（死亡を含む）人的傷害またはあらゆる種類の財産の喪失または損害について、またはコスト、利益の喪失、またはその他のいかなる損害または喪失について、防護服の購入者または商用ユーザーに対する補償責任を負いません。









**Ansell Protective Solutions AB**

Arenagatan 8B

215 33 Malmö, Sweden

電話 + 46 (0)10 205 1800

order.protective@ansell.com

<http://protective.ansell.com>



アンセル、および™は、別段の指示がない限り、Ansell Limitedまたはその関連会社が所有する商標です。トレルケム®は、Trelleborg ABが所有する登録商標です。バイトン™は、DuPont Performance Elastomers L.L.C. ©2020 Ansell Limitedが所有する登録商標です。無断複製・転載を禁じます。